



2016年12月2日
在日米国商工会議所

ACCJ 会頭にクリストファー・ラフルアーを再選出

在日米国商工会議所（ACCJ）は、2017 年会頭にクリストファー・J・ラフルアーを再選出しました。2 期目の任期開始日は 2017 年 1 月 1 日です。

ラフルアー会頭は、次のように抱負を述べています。「ACCJ の会頭に再選出されたことを大変光栄に思います。また、同じく今回の選挙で理事会のメンバーに選出されました皆様に祝意を表すとともに、今後も引続き ACCJ のミッションである『日米の経済関係のさらなる進展、米国企業および会員活動の支援、そして日本における国際的なビジネス環境の強化』に必要な取組みを、新任ならびに現任の理事のメンバーとともに、進めて参ります。貿易の真価が近年類をみないほど厳しく問われるなか、グローバルビジネスの代弁者でもある ACCJ のような経済団体に課された責任はこれまでになく大きなものであらうと思えます」

ラフルアー会頭は続けて「会頭として、既に具体的な進展をみた成果を継続的に積み重ね、会員であることの価値や会員交流を重視し、また政策提言活動に注力することにより、組織の魅力向上に取り組んで参ります。ACCJ の真の強みは会員一人ひとりの存在であり、その会員にさらなる価値を提供することは、積極的な会員同士の交流や活動への参加を促すことにつながります。また、ACCJ の政策提言に対する取組みは、会員の利益促進に貢献し、政府やビジネスにおける主要リーダーとの緊密な連携や協力を可能にしてきました。政策提言の取組みを一層強化することにより、日本のさらなる改革や経済成長、そしてアジア太平洋経済のリーダーとしての日米のより強固な二国間関係の実現に寄与するグローバル・ベストプラクティスに則った問題解決につながる提言も継続的に提供して参ります」と述べました。

--略歴--

クリストファー・ラフルアーは、18カ国に拠点を持つ米国ワシントンDCに本社を置くコンサルティング会社であるマクラーティ・アソシエイツの日本のシニアディレクター。同社は、クライアントのグローバルな課題や機会の調査・精査、および国際的な目標達成に向けた戦略実行の支援などを手掛ける。

同氏は、現在東京に拠点を置き、DTCCデータ・レポジトリージャパン株式会社の会長やツネイシホールディングス株式会社の社外取締役、LMアソシエイツの代表を兼務する。さらに、モーリーン&マイク・マンフィールド財団、日本国際交流センター、および国際学生会議の理事、世界的なソーシャル・アントレプレナー（社会起業家）ネットワークの先駆者であるアショカのアドバイザーも務める。

1973年から約35年間外交官として米国国務省に勤務した、日本に関するエキスパートの一人。東京・パリ・札幌での勤務を経て、国連へ米国代表の一員として派遣される。また、米国国務省ベトナム、ラオス、カンボシア担当オフィスディレクター、1993年から1997年の間に在台湾米国協会

の副ディレクター、1997年から2001年の間は在日米国大使館首席公使、2001年から2003年には米国国務省東アジア・太平洋地域担当主席次官補を歴任後、将来の日米および米韓同盟を協議する米国国務省のチーム座長を務める。2004年から2007年、駐マレーシア米国大使。

米国オベリン大学卒業後、プリンストン大学ウッドロー・ウィルソン・スクールにて学ぶ。

ACCJ では同時に、副会頭 5 名（内 1 名は中部支部）と理事 7 名（内 1 名は中部支部）を選出した。2017 年の役員一覧は以下のとおりです。

副会頭

<新規選出>

- エイミー・ジャクソン（米国研究製薬工業協会 日本代表）
- ピーター・ジェニングス（ダウ・ケミカル日本株式会社 代表取締役社長）

<再選出>

- マリー・キッセル（アボット バイスプレジデント、グローバル・ガバメント・アフェアーズ アジア担当）
- ジョナサン・クシュナー（クレアブ株式会社 マネージング・パートナー アジア統括責任者）

<現任>

- アンドリュー・J・コンラッド（アフラック 常務執行役員・統括法律顧問、アフラック・インターナショナル・インコーポレーテッド シニアバイスプレジデント）

財務理事

<現任>

- ナンシー・ナガオ（EY アドバイザリー株式会社 パートナー）

理事

<新規選出>

- 浅井英里子（GE ジャパン株式会社 専務執行役員 政策推進本部本部長）
- ブレット・ゲリー（ボーイング ジャパン株式会社 ボーイング ジャパン社長）
- ライアン・トマス（PwC 税理士法人 パートナー）
- 塚本恵（キャタピラージャパン株式会社 執行役員 渉外・広報室長）

<再選出>

- アーサー・M・ミッチェル（ホワイト&ケース外国法事務弁護士事務所 シニアカウンセラー）
- サシン・N・シャー（メットライフ生命保険株式会社 取締役 代表執行役 会長 社長 最高経営責任者）

<現任>

- アリソン・バーチ（JP モルガン証券株式会社 人事部長、マネージング・ディレクター）
- ティム・ブレット（日本コカ・コーラ株式会社 代表取締役社長）
- レベッカ・K・グリーン（イー・アール・エム日本株式会社 プリンシパルコンサルタント）
- A. バリー・ハーシュフェルド, Jr.（AIP ヘルスケアジャパン合同会社 代表）

- タッド・ジョンソン（プラット&ホイットニー・アフターマーケット・ジャパン株式会社 ゼネラルマネージャー 兼 代表取締役）
- 丸山純一（シティグループ・ジャパン・ホールディングス合同会社 執行役員、ガバメント・アフェアーズ担当）

中部支部

副会頭＜新規選出＞

- レイ・プロパー（株式会社 H&R Group IT マネージャ）

理事

- マイケル・ウィーニック（ヒルトン・ワールドワイド キャピタル・プロジェクト(アジアパシフィック) シニア・ディレクター）

監査役＜再任＞

- ジョナサン・ホブス（ホブス米国特許事務所 部長）

関西支部

副会頭＜現任＞

- ステファン・A・ザーカー（関西外国語大学 アジアンスタディーズプログラム 学部長）

理事＜現任＞

- パトリック・ジョンソン（日本イーライリリー株式会社 代表取締役社長）

監査役＜現任＞

- クレイグ・マクガヴァン（ヒルトン大阪 副総支配人 財務経理担当）

以上

###

1614 J

—在日米商工会議所について—

在日米商工会議所（ACCJ）は、米国企業 40 社により 1948 年に設立された日本で最大の外国経済団体です。米国企業の日本における経営者を中心に、現在は約 1000 社を代表する会員で構成され、東京、名古屋、大阪に事務所を置いています。日米両国政府や経済団体等との協力関係のもと、「日米の経済関係の更なる進展、米国企業および会員活動の支援、そして、日本における国際的なビジネス環境の強化」というミッションの実現に向けた活動を展開しています。また、60 以上の業界・分野別委員会を中心に活動を行い、意見書やパブリック・コメント、白書等を通じた政策提言や、政策や経済の動向等について年間 500 以上のイベントやセミナーを開催するとともに、各種チャリティー等の企業の社会的責任（CSR）活動にも積極的に取り組んでいます。

【お問い合わせ】

同伴に関するお問い合わせは、在日米商工会議所 渉外室（電話: 03-3433-6542; メール: external@accj.or.jp）までお願いいたします。